

CASBEE神戸ver.3
中山視覚障害者福祉財団 新中山記念会館

■使用評価マニュアル: CASBEE神戸ver.3

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト:

CASBEE神戸ver.3/CASBEE-BD

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質									3.5
Q1 室内環境					0.39				3.5
1 音環境				3.0	0.15				3.0
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40	3.0			
1.2 遮音				3.0	0.40				
1 開口部遮音性能				3.0	0.60	3.0			
2 界壁遮音性能				3.0	0.40	3.0			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	-	3.0			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-	3.0			
1.3 吸音				3.0	0.20	3.0			
2 温熱環境				2.9	0.35				2.9
2.1 室温制御				3.7	0.50				
1 室温				3.0	0.38	3.0			
2 外皮性能		冷暖フリー		3.0	0.25	3.0			
3 ゾーン別制御性				5.0	0.38				
2.2 湿度制御				1.0	0.20	3.0			
2.3 空調方式				3.0	0.30	3.0			
3 光・視環境				4.3	0.25				4.3
3.1 昼光利用				4.2	0.30				
1 昼光率		昼光率2.926%		5.0	0.60	3.0			
2 方位別開口					-	3.0			
3 昼光利用設備				3.0	0.40	3.0			
3.2 グレア対策				4.0	0.30				
1 昼光制御		ブラインド+庇ルーバーによりグレアを制御		4.0	1.00	3.0			
3.3 照度		設計平均照度500lx以上1000lx未満		4.0	0.15	3.0			
3.4 照明制御		無線調光照明制御で細かいエリア制御、端末で調整が可能		5.0	0.25	3.0			
4 空気質環境				3.9	0.25				3.9
4.1 発生源対策				4.0	0.50				
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆認定品をほぼ全面的に採用		4.0	1.00	3.0			
4.2 換気				3.6	0.30				
1 換気量				3.0	0.33	3.0			
2 自然換気性能		自然換気有効開口面積は居室床面積の1/30以上		4.0	0.33	3.0			
3 取り入れ外気への配慮		換気機器の外気取入口と各所排気口は6m以上離れて設置		4.0	0.33	3.0			
4.3 運用管理				4.0	0.20				
1 CO ₂ の監視				3.0	0.50				
2 喫煙の制御		全面禁煙		5.0	0.50				
Q2 サービス性能					0.30				3.8
1 機能性				4.1	0.40				4.1
1.1 機能性・使いやすさ				3.6	0.40				
1 広さ・収納性		11㎡/人		4.0	0.33	3.0			
2 高度情報通信設備対応				3.0	0.33	3.0			
3 バリアフリー計画		バリアフリー新法(最低限のレベル)を満たす		4.0	0.33				
1.2 心理性・快適性				5.0	0.30				
1 広さ感・景観		天井高は2.9m以上		5.0	0.33	3.0			
2 リフレッシュスペース		リフレッシュスペースを確保し自動販売機などを設置		5.0	0.33				
3 内装計画		インテリアバースによる内装計画の検討を行っている		5.0	0.33				
1.3 維持管理				4.0	0.30				
1 維持管理に配慮した設計		床や壁は防汚性に配慮している		4.0	0.50				
2 維持管理用機能の確保		清掃用資材保管スペースを確保		4.0	0.50				
2 耐用性・信頼性				3.5	0.30				3.5
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.4	0.50				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80				
2 免震・制震・制振性能		免震装置を設けている		5.0	0.20				
2.2 部品・部材の耐用年数				3.6	0.30				
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.20				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		厨房排気ダクトにはガルバリウムを採用		5.0	0.10				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		上位3種の2種以上にB以上を使用しEは不使用		5.0	0.20				
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20				
2.4 信頼性				3.8	0.20				
1 空調・換気設備		吊り配管で地震対策を行っている		5.0	0.20				
2 給排水・衛生設備		過半以上にエコマーク性能をもつ給水器具を採用		5.0	0.20				
3 電気設備		非常用発電機を設置		4.0	0.20				
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20				
5 通信・情報設備				2.0	0.20				

3 対応性・更新性			3.6	0.30	-	-	3.6
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高は3.9m以上	5.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率=0.23	4.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.4	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性	システムWCの採用	5.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.31	-	-	3.4
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		周辺の街並みや風景に調和した外観デザイン	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			4.0	0.30	-	-	4.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	地域活動センターなどを設置し地域の活動に貢献	5.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.0
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI _m =0.95	3.2	0.17	-	-	3.2
2 自然エネルギー利用		外気冷房制御の採用	4.0	0.10	-	-	4.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEI _m] = 0.85	2.7	0.52	-	-	2.7
4 効率的運用			3.5	0.21	-	-	3.5
集合住宅以外の評価			3.5	1.00	-	-	
4.1	モニタリング	監視装置で主要な用途別エネルギー消費の内訳を把握分析	4.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			3.0	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	4.1
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水		省水型機器を採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			4.6	0.60	-	-	4.6
2.1	材料使用量の削減	SN490、BCP鋼材、QLデッキ	4.0	0.11	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用	既存地下躯体を利用	5.0	0.22	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	基礎、基礎梁にフライアッシュセメント採用	5.0	0.22	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	ビニル床タイル、岩綿吸音板	4.0	0.22	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	再利用できるユニット部材OAフロアを使用	5.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	断熱材はODP=0、GWP50未満を採用	4.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮		LCCO2排出量削減に配慮	3.4	0.33	-	-	3.4
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止		燃焼設備は無い	5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	周辺道路の渋滞緩和寄与	4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策ガイドラインチェックリストの過半を満たす	5.0	0.70	-	-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	